

平成27年度

予算編成 方針



企画財政部 財政課



財政の健全性なくして、
市民福祉の向上なし！

『財政の健全性』の確保
を解く、しっかり者。

いばら騎士レッド ibara-knight-red



今のサービスの充実と、
将来の発展のために
投資を！

より豊かな茨木市を
追求する、熱き男。

いばら騎士オレンジ ibara-knight-orange



みんな 税の使い道を
一緒に考えていこうね！

見習い中の初級騎士で
レッドに憧れる、勉強熱心
なハイテンションガール。

いばら騎士グリーン ibara-knight-green



このご時世、そんな
サービスに税金使う必
要、ほんまにあるん？

歯に衣着せず
行政サービスを語る、
クールな女性。

いばら騎士ブルー ibara-knight-blue 2

1 財政計画

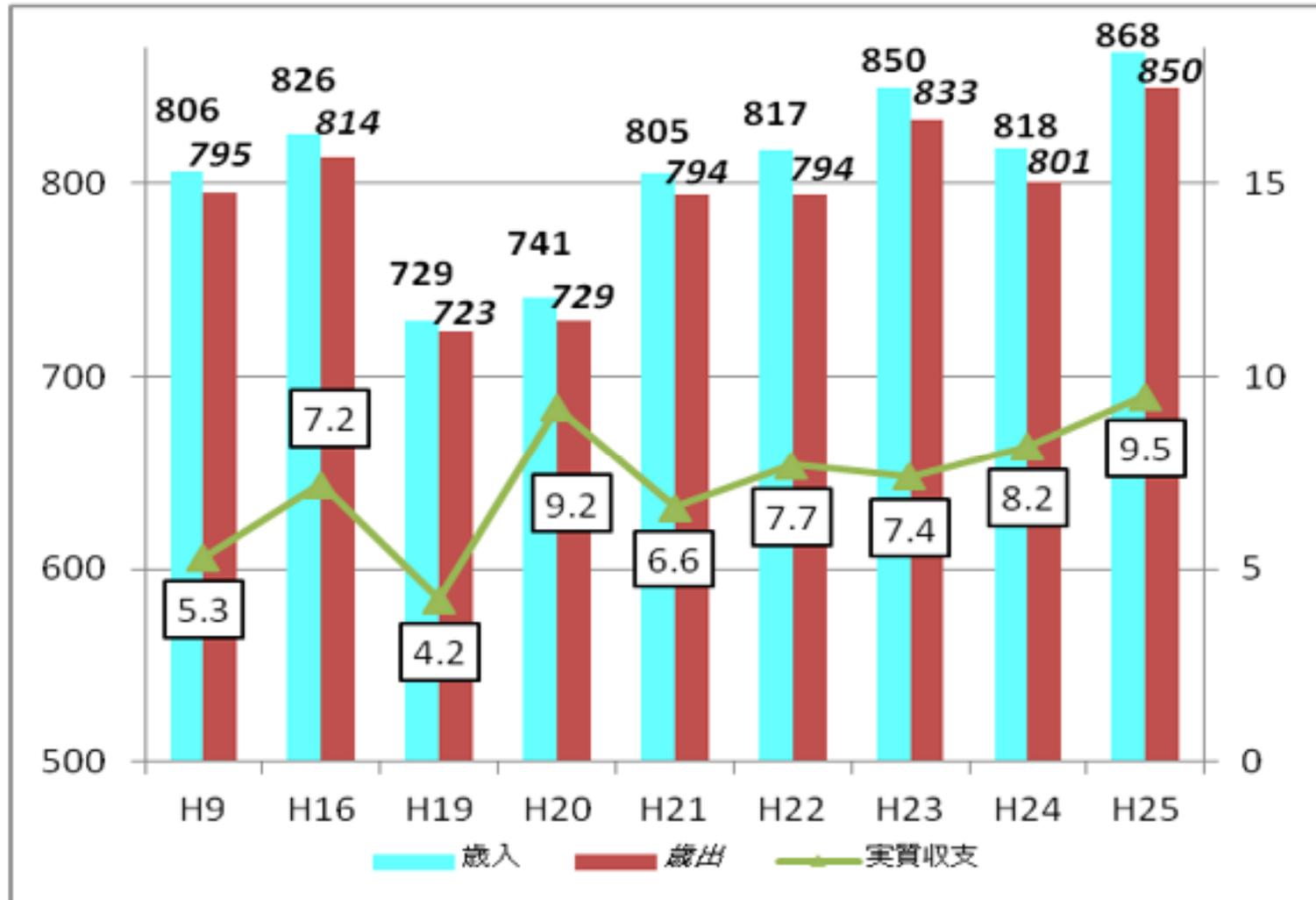
将来にわたり行政の使命を果たすための
健全な財政運営に向けた取り組み

(1) 茨木市の財政状況

決して多くはない財源の中、健全化への
取組みにより、良い状況をキープ

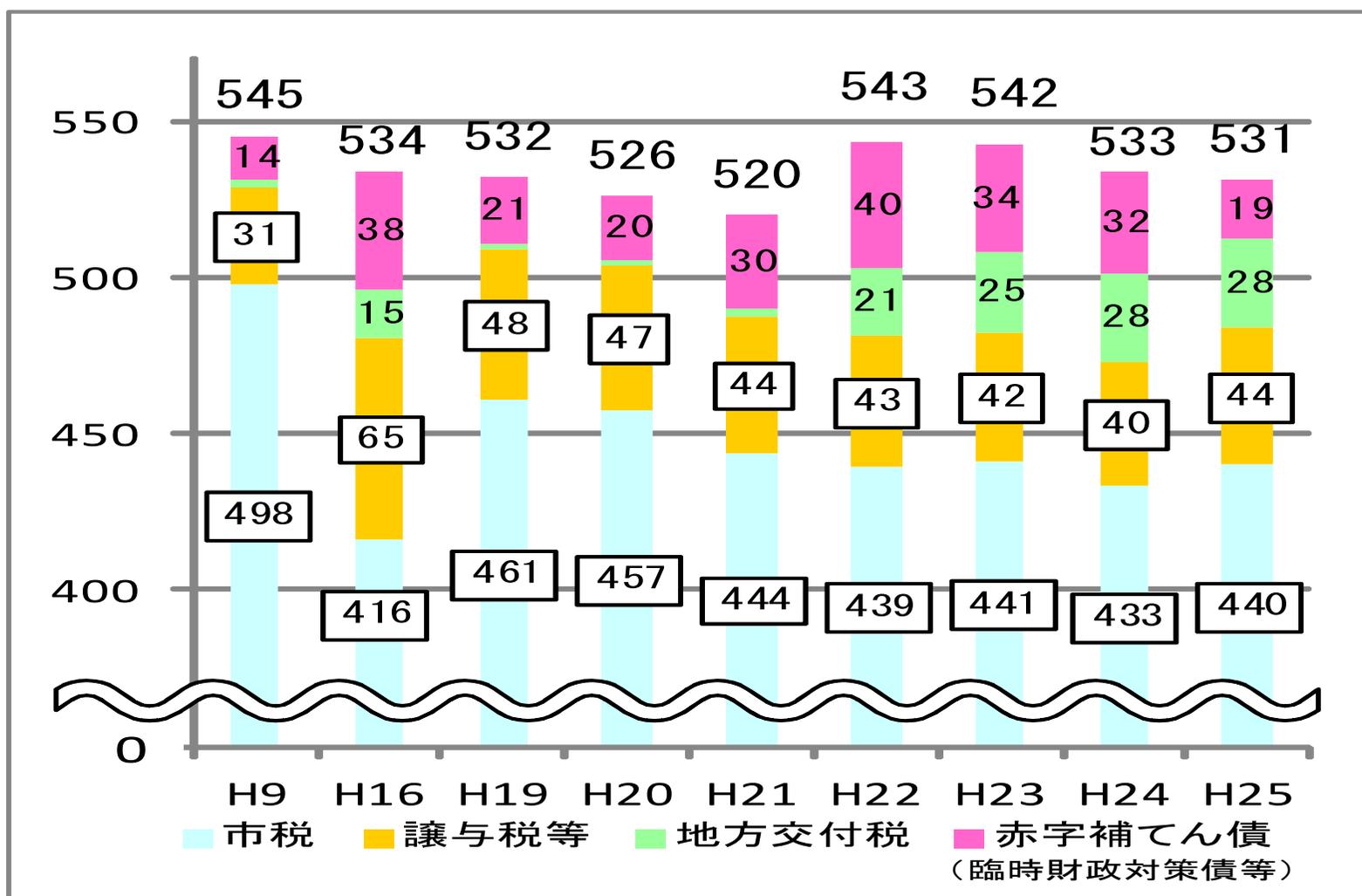
財政規模の推移(一般会計ベース決算)

億円



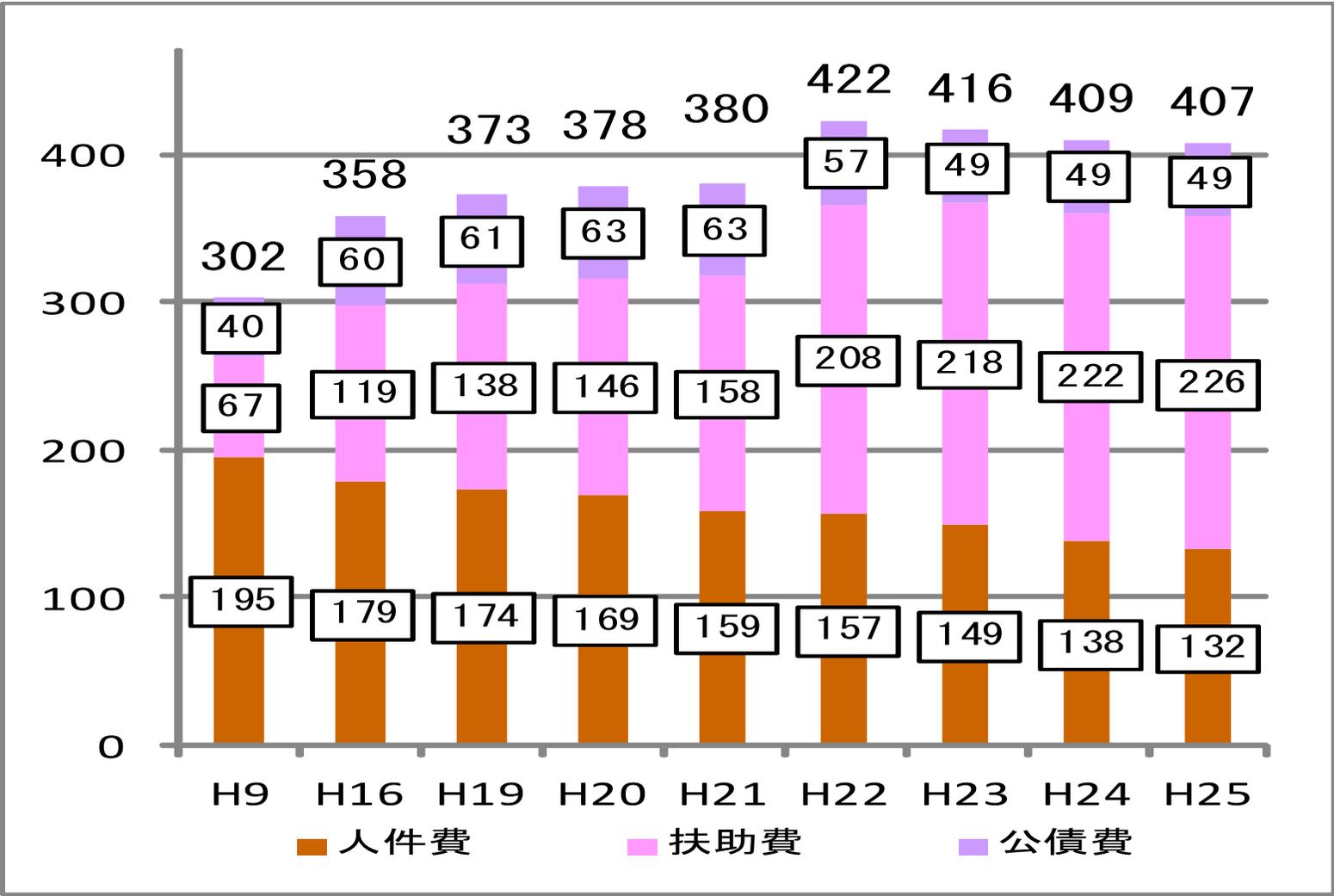
税等一般財源の推移(一般会計ベース決算)

億円

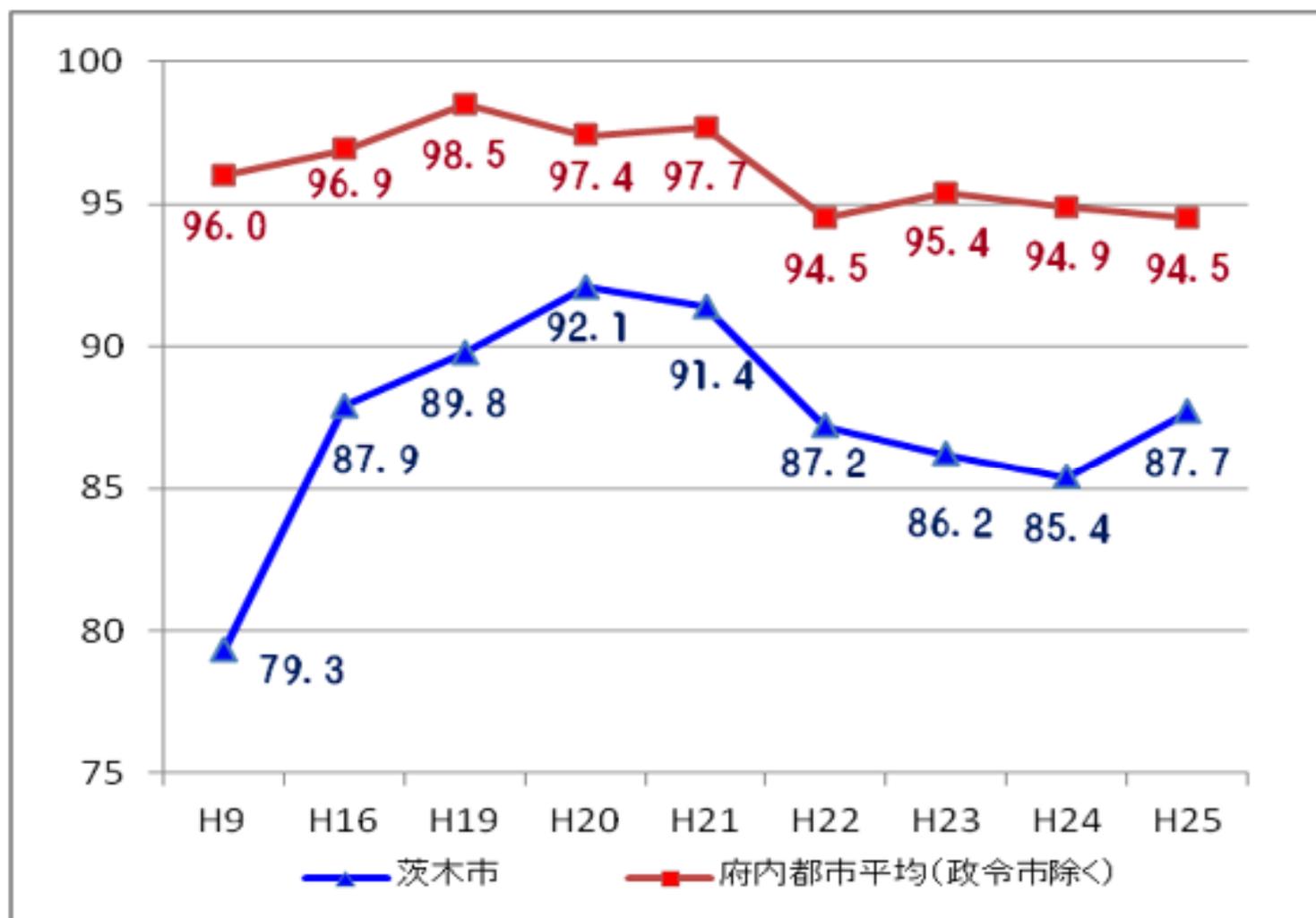


義務的経費の推移(一般会計ベース決算)

億円

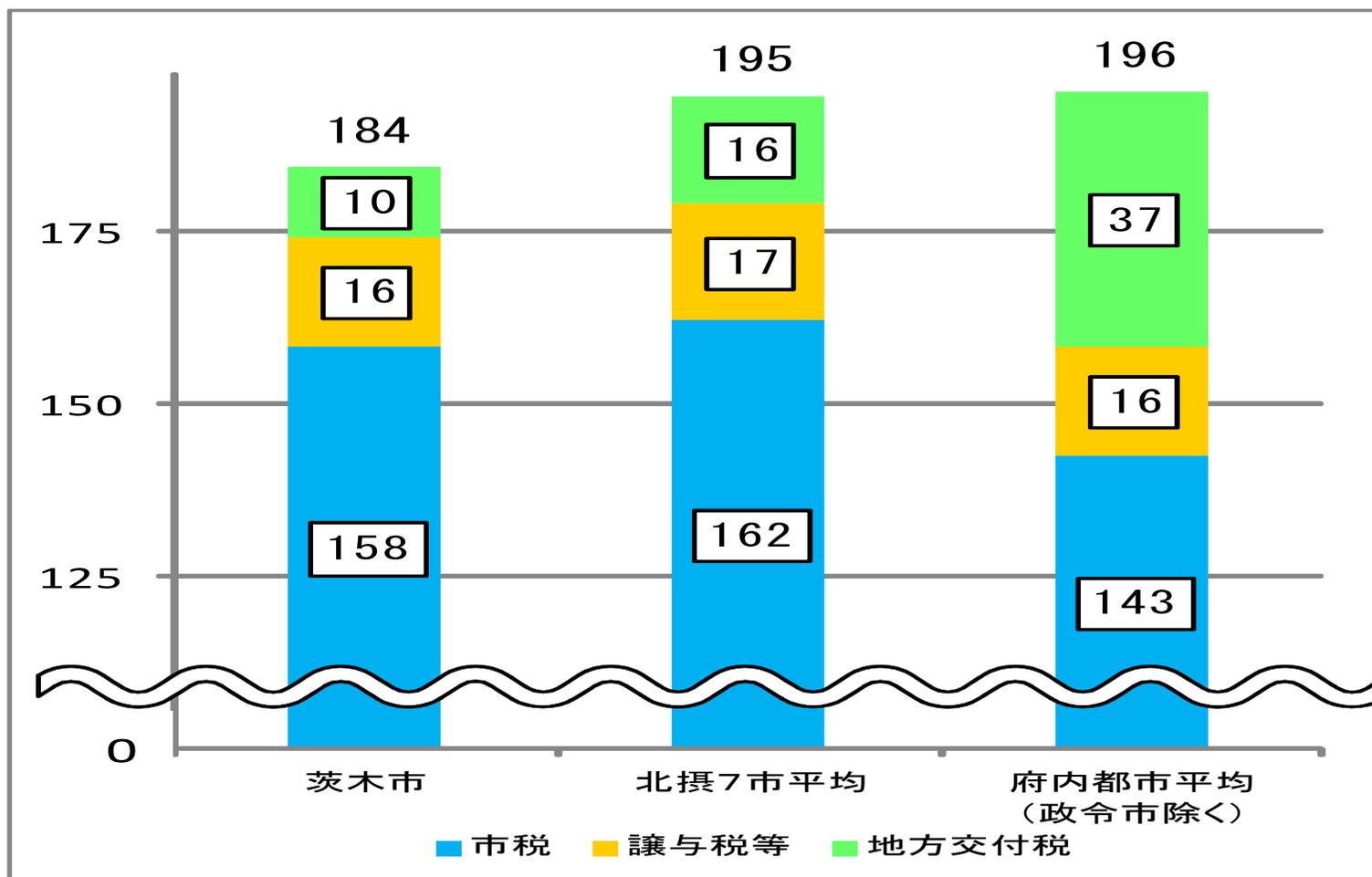


経常収支比率の推移



税等一般財源比較 (市民1人あたり)

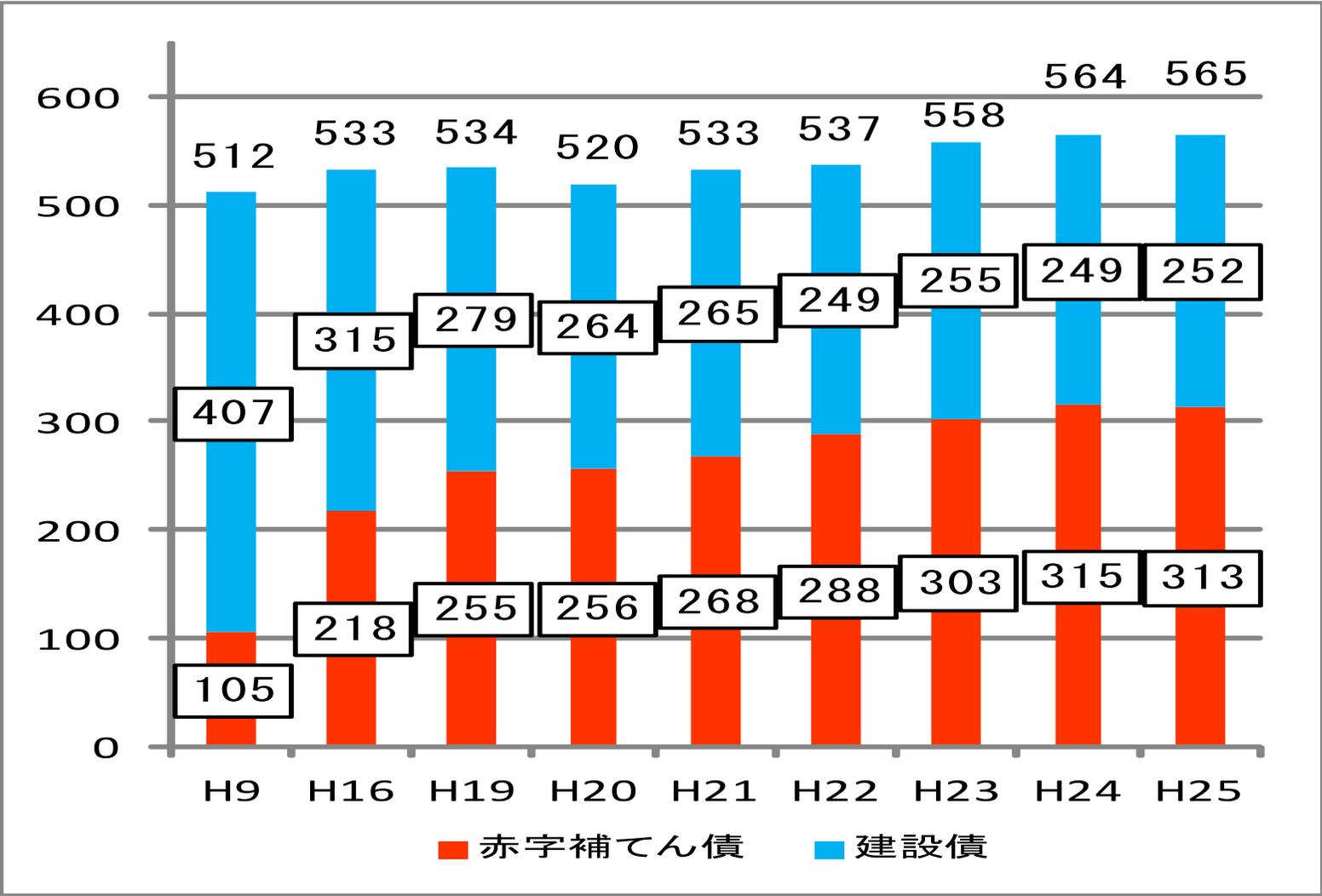
千円



※平成25年度決算ベース (臨時財政対策債除く)

市債残高の推移

億円



(2) 今後の財政見通し

「今」と「将来」に対応した施策の推進と
財政見通し

財政見通しの見込み方

1 経常収支（現行制度による人口推計を基本に推計）

市税などの一般財源及び経常事業にかかる国府補助金等から、毎年度継続して実施する事業にかかる歳出を差し引いたもの

【歳入】

【市税】 景気動向、生産年齢人口推計、固定資産税の評価替え等を反映

【譲与税・交付金のうち地方消費税交付金と、臨時財政対策債】

（地方消費税交付金）消費税率の改定の増収を反映

（臨時財政対策債）消費税交付金の増収を見込みH29以降は発行なし

【譲与税・交付金(他)】 H26予算額ベース

【地方交付税】 22～35億円を見込む

【歳出】

【人件費】 実績等をもとに、現状の職員数の維持を基本に見込む

【社会福祉経費】 年少人口の減少、高齢者人口の増加の推計等を反映

【公債費】 借入済みの市債の償還予定に、H26以降の市債推計を反映

2 政策事業

「今」必要なサービスの実施や「将来」のまちの発展に資する新規・拡充事業

- ①政策事業 ・ ・ハード事業・ソフト事業・基金積立・主要プロジェクトにかかる経費
- ②公共施設の老朽化対策 ・ ・公共施設の長寿命化にかかる経費
- ③政策事業の経常化 ・ ・ソフト事業とハード事業にかかる公債費が、翌年度以降経常化した経費

3 最終収支 経常収支から、政策事業等を差し引いたもの

1 財政収支見通し(経常収支)

【取組前】

(単位:億円)

A 中長期財政見通し		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
経常事業	①歳入	784	792	794	796	800	802	801	801	805	803
	(1) 市税	438	443	449	445	451	457	453	459	465	461
	(2) 譲与税・交付金	56	71	71	71	71	71	71	71	71	71
	(3) 地方交付税	26	28	30	35	32	27	30	24	22	24
	(4) 市債(臨時財政対策債)	22	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	(5) その他	242	243	244	245	246	247	247	247	247	247
生活保護などの扶助費や国保等特別会計への繰出金など	②歳出	744	754	757	762	765	763	761	760	761	754
	(1) 人件費	140	139	138	140	140	139	140	140	142	140
	(2) 社会福祉経費	320	326	331	334	337	340	342	343	346	349
	(3) 公債費	47	49	49	49	49	48	47	46	43	36
物品購入などの物件費や団体等への補助金など	(4) その他	237	240	239	239	239	236	231	230	230	229
	A 経常収支 ①-②	40	38	37	34	35	39	40	41	44	49

2 財政収支見通し(政策事業)

【取組前】

(単位: 億円)

B		中長期財政見通し	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
H27~29年度は 主要プロジェクトが集中	政策事業	事業費	92	65	80	45	40	40	38	35	48	62
		市債	40	24	30	17	16	16	15	13	20	29
		B 一般財源	27	22	25	20	18	19	18	17	17	20
C		中長期財政見通し	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
財政負担を 平準化し 一定額を確保	公共施設等の 老朽化対策費	事業費	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
		市債	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
		C 一般財源	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
D		中長期財政見通し	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
政策事業により 経常化する経費	D ₁ ソフト事業の新規・拡充経費		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	D ₂ 公債費		1	2	3	6	9	11	13	15	17	19
D 政策事業の経常化分 合計			1	4	7	12	17	21	25	29	33	37

市民サービスの充実を図るソフト事業の経常化分や、
主要プロジェクト等のハード事業に伴う起債の償還費が累積

3 財政収支見通し(最終収支)

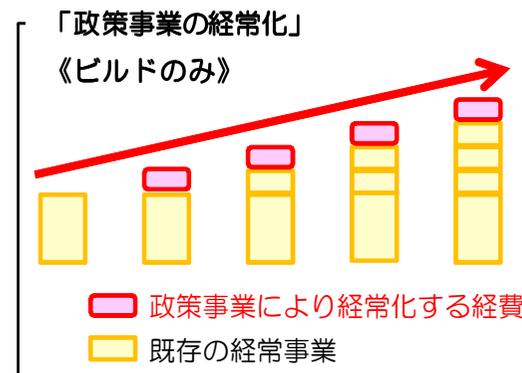
【取組前】

(単位: 億円)

中長期財政見通し		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
A 経常事業	A 経常収支 ①-②	40	38	37	34	35	39	40	41	44	49
B 政策事業	B 一般財源	27	22	25	20	18	19	18	17	17	20
C 公共施設等の老朽化対策費	C 一般財源	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
D	D 政策事業の経常化分	1	4	7	12	17	21	25	29	33	37
E	E 最終収支 A - B - C - D	1	1	▲6	▲9	▲11	▲12	▲14	▲16	▲17	▲19



平成29年度から赤字に！？
政策事業により経常化する経費が原因みたい…
何か手立てを講じなきゃ！！



(3) 将来を見据えた取組み

将来にわたる財政の健全性の確保に
向けて！！

財政運営の基本原則

1 柔軟な財政構造の保持

経常化する経費の累積による財政構造の硬直化を防ぐため、新たに実施する新規・拡充事業(ビルド)の財源は、既存事業の制度の見直し(スクラップ)により創出

具体的な取組

★メリハリある ビルド&スクラップ の実践による経常事業の見直し

2 将来(世代)への負担の抑制

市債の借り過ぎは、後年度の公債費負担を増加させる要因となるため、将来(世代)へ負担を先送りし過ぎないように、適切に市債を発行

具体的な取組

★ハード事業の適切な選択による市債発行の抑制

1 メリハリあるビルド&スクラップの実践による 経常事業の見直し

《目標》 経費硬直率を概ね85%以内に抑制

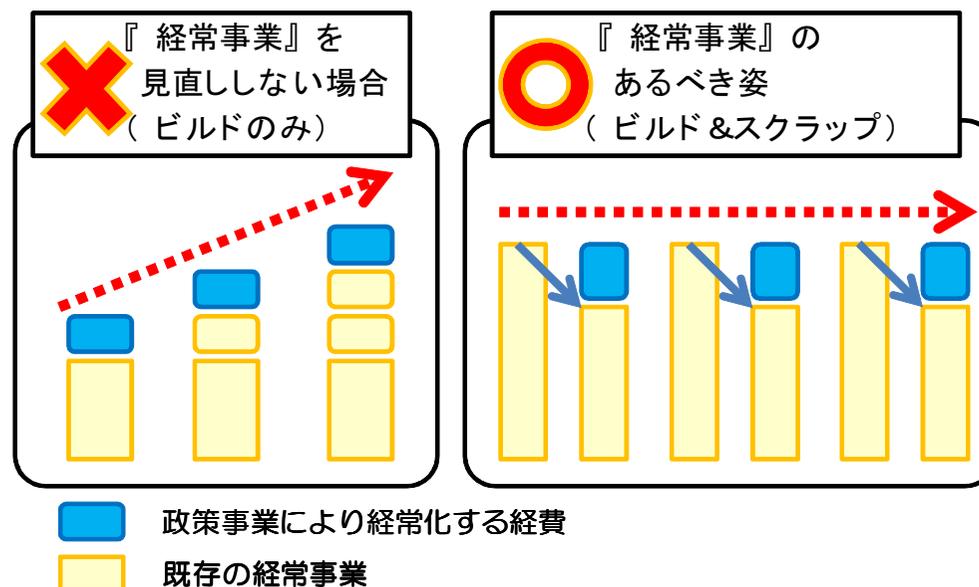
経費硬直率

$$= (\text{経常事業の歳出に充当される一般財源}(\ast 1) / \text{税等一般財源}(\ast 2)) \times 100$$

※1 税等一般財源－経常収支〔経常事業の歳入－経常事業の歳出（公債費除く）〕

※2 市税＋譲与税・交付金＋市債（臨時財政対策債）

※経費硬直率とは、家庭に例えると、ローンの返済費を除いた生活費が給料の中でどのくらいの割合になっているか。高いほど余裕がない！！



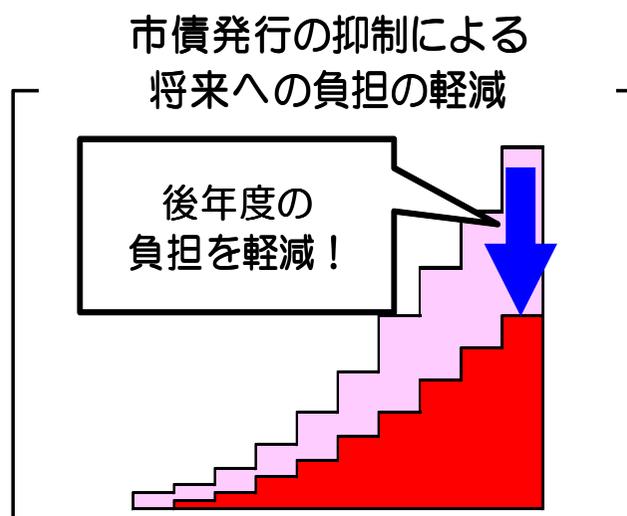
2 ハード事業の適切な選択による市債発行の抑制

《目標》 市債償還指数を概ね7.5以内とし、
かつ公債費を概ね60億円以下に抑制

$$\text{市債償還指数} = \text{市債の残高} / \text{経常収支}(\ast)$$

※ 経常事業の歳入－経常事業の歳出（公債費除く）

※市債償還指数とは、家庭に例えると、給料のうち生活費以外のお金をすべて借金に充てた場合、どの程度で返済できるか。



取組後の財政収支見通し

(単位:億円)

E	中長期財政見通し	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	E 最終収支 (取組前)	1	1	▲6	▲9	▲11	▲12	▲14	▲16	▲17	▲19

取組みの実践

F	中長期財政見通し	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	F ₁ 経常事業の見直し (累積額) 毎年▲2億円	▲2	▲4	▲6	▲8	▲10	▲12	▲14	▲16	▲18	▲20
	F ₂ ハード事業の適切な選択 事業費 市負担 H27~H29: ▲10億円▲3億円 H30~H29: ▲8億円▲2億円	▲3	▲3	▲3	▲2	▲2	▲2	▲2	▲2	▲2	▲2
	F ₃ 起債抑制に伴う公債費減 (起債) H27~H29: ▲6億円 H30~H29: ▲5億円 (公債費) H31~ : ▲1~3億円					▲1	▲1	▲1	▲2	▲2	▲3
	F 取組効果 合計	▲5	▲7	▲9	▲10	▲13	▲15	▲17	▲20	▲22	▲25

取組みの結果

G	中長期財政見通し	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	G 取組後収支 (E-F)	6	8	3	1	2	3	3	4	5	6

収支不足の改善！！

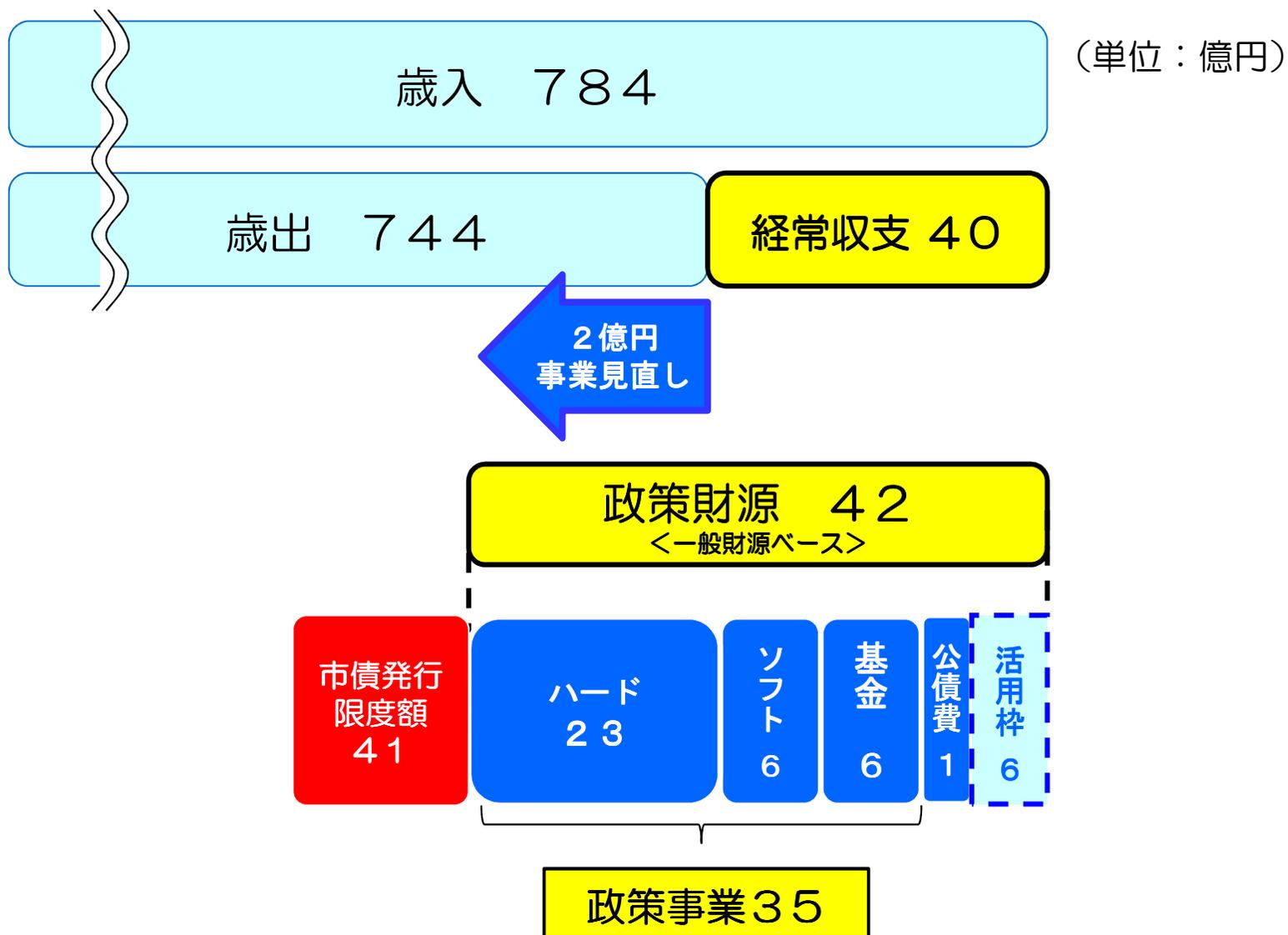
健全な財政運営の
実践により収支不足
を解消し「黒字」
を確保！！



ビルド&スクラップの実
践による経常事業の見直
しと、ハード事業の適切
な選択による市債発行の
抑制の取組みが必要な
んだよ。



当初予算編成に向けての財源フレーム



2 平成27年度 予算編成の取組み

新たな総合計画に基づくまちづくりの幕開けに
相応しい予算を！！

予算編成の基本方針

平成27年度は、

「財政の健全性」を確保のもと、
“「今」必要なサービスの充実と
「将来」の活力あるまちの発展” を実現！！

をスローガンに掲げ、財政計画における「将来にわたり行政の使命を果たす」ため、メリハリあるビルド&スクラップを実践する予算を編成する！！

将来にわたり行政の使命を果たすための取組み

① メリハリある ビルド & スクラップ の実践による事業の見直し
～柔軟な財政構造の保持～

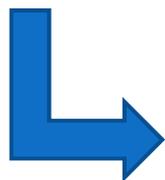
② ハード事業の適切な選択による市債発行の抑制
～将来への負担の抑制～

③ 老朽化する公共施設等について予防保全的な取組みを実施

将来にわたり行政の使命を果たすための取組み

① メリハリある ビルド & スクラップ の実践による事業の見直し ～柔軟な財政構造の保持～

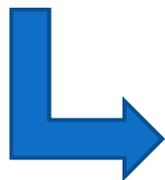
ビルド



～市民サービスの向上を図る事業の着実な実施～

- 実施計画掲載予定事業は、事業費の精査、効果的・効率的な実施方法等を検討
- 「さらなる総合計画実現枠」を活用し、行政課題の対応と魅力あるまちづくりにつながる事業を各部各課でアイデアを出し積極的に事業を立案

スクラップ



～経常経費見直し目標 2 億円の達成～

- 見直し目標額達成に向け全庁的に取り組む
〈目標額 2 億円は部別に配分〉
⇒政策事業の経常化する経費の抑制及び政策事業の追加財源枠を設定

実施計画掲載予定事業の磨き上げ

実施計画掲載予定事業

☆ピカピカに事業を磨き上げ☆

- ✦ 事業費の精査
- ✦ 効果的・効率的な実施内容・方法等の検討

市民満足度が高まる事業として予算要求！！

当初予算編成に向けての財源フレーム

(単位：億円)



2億円
事業見直し

スクラップの実践
で見直し目標額
を達成し、政策財
源42億円の確保
をせなあかんで!

基本計画(案)をより一層
推進するために、各部各
課で様々なアイデアを持
ち寄って十分議論したう
えで、積極的に立案する
んだ!!

政策財源 42
〈一般財源ベース〉

市債発行
限度額
41



政策事業 35

【スクラップ】
見直し目標額を
各部へ配分

・「さらなる
総合計画実現枠」
・市債発行の抑制
等に活用

『メリハリあるビルド&スクラップ対照表』の作成

主なビルド&スクラップ事業（「実施計画掲載予定事業」は判定、「さらなる総合計画実現枠」提案事業は★を記入）

単位（千円）

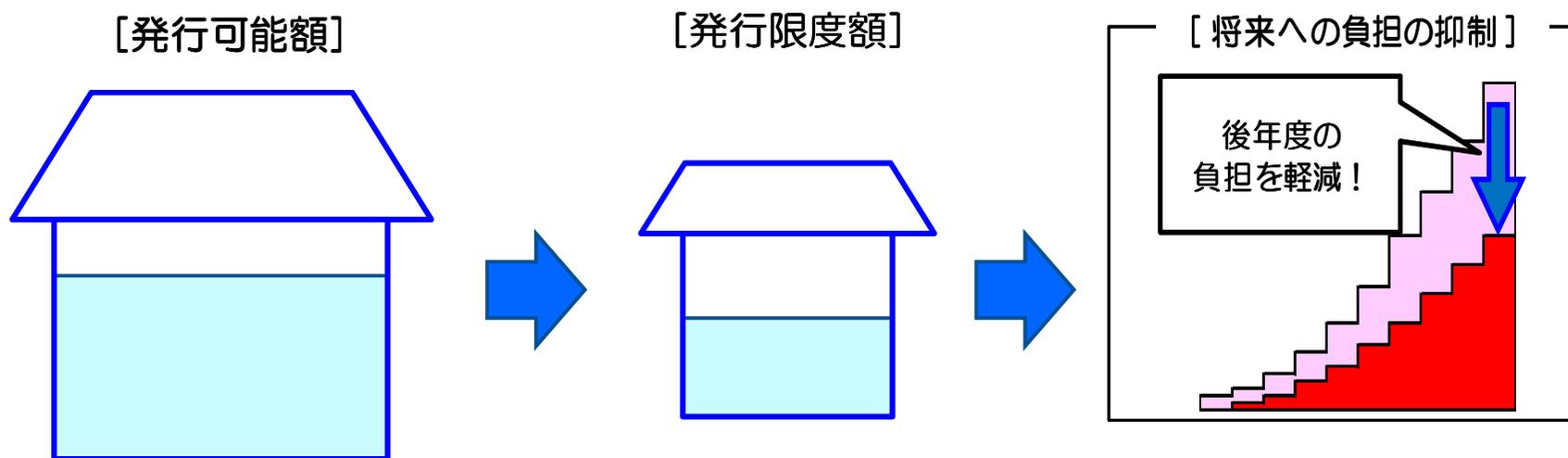
ビルド事業				スクラップ事業				
【対象】誰を対象とした事業か 【目的】どのような効果が期待されるのか 【手段】どのような事業を行うか				【対象】誰を対象とした事業か 【目的】なぜ見直しを行うのか 【手段】どのような見直しを行うのか				
項目	事業概要	要求額 (一般財源)		担当課	見直し項目	見直し概要	効果額 (一般財源)	担当課
		臨時・経常						
1	○の自立を支援の強化を図るため、民	1,000		臨時か経常か選択	この事業は～～を目的として、～～を対			○課
2	△置事業 る△△センターを設置する。	1,000	経常	□課	△△のハンドブ A 広告の導入	まとめて記入する		□課
3	平成27年度は○の20周年であることか	1,200		△△課	その	部内各課における消耗品費の精査、研修		
4	☆ビルドとセットのスクラップ☆							
5	○○な現状を△△したいために、 効果のある新たな□□事業を ビルドするとともに、その財源として、 効果が小さい◇◇事業をスクラップする！！							
6	☆スクラップとセットのビルド☆							
	効果が小さい◇◇事業は、 費用対効果の視点からスクラップ するとともに、◇◇事業対象者の サービス向上に向けた、 効果のある新たな□□事業をビルドする！！							
合計(B)							△ 31,129	

見直し目標額(A)	△ 30,000	見直し達成状況 (A)-(B)	1,129	達成
-----------	----------	--------------------	-------	----

将来にわたり行政の使命を果たすための取組み

② ハード事業の適切な選択による市債発行の抑制 ～将来への負担の抑制～

- ハード事業の適切な選択により市債発行を抑制し将来の公債費負担を軽減
⇒財政計画における将来の収支改善に向け、市債発行限度額を設定



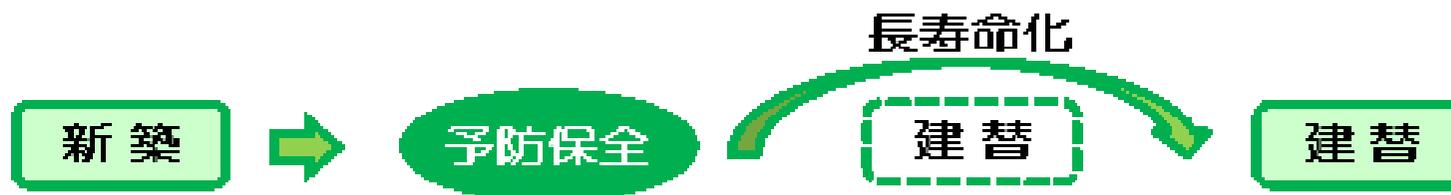
将来にわたり行政の使命を果たすための取組み

③ 老朽化する公共施設等について予防保全的な取組みを実施

- ・公共施設やインフラ施設の老朽化による改修等の経費が集中し大きな財政負担となることから、長寿命化による平準化を図る予防保全的な改修等の財源を一定額確保

◎ 予防保全

屋上防水等の予防保全を実施することにより、長寿命化を図り建替えのスパンを伸ばす。



行政の使命

「今」必要な
市民サービスの
充実

「将来」の
活力ある
まちの発展

「財政の健全性」の確保

そのため
には…

メリハリある

ビルド

&

スクラップ

市民にしっかりと
説明できる
取組み！！

新たなサービスを行うために

既存のサービスを見直す！！

ハード事業の適切な選択！！



総合計画のまちの
将来像の具体化に
向け、どんどん
ビルドするぞ！！

たくさんのビルドには、
たくさんのスクラップが
必要やで！



行政の使命は市民サービスの向上につながる
事業の実施なんだ。でも、健全な財政でなくては
ならないんだよ！

これからも今と将来に対応した市民サービスの
充実に向けてビルド&スクラップを実践し、
一つ一つ進めていくことが大切だね！

